

東京水道～企業の森(ネーミングライツ)「JMTの森」の保全活動を実施しました



「JMTの森」看板



間伐作業

東京都水道局は多摩川の水を育むため、多摩川上流域の森林(約25,000ha)を120年にわたり管理しており、将来にわたって水道水源林を守り育て、安全でおいしい水を届けるため多様な主体と連携した森づくりを行っています。

当社は、2020年8月に東京都水道局が実施する「みんなでつくる水源の森実施計画」に賛同し、「東京水道～企業の森(ネーミングライツ)」の協定を締結しました。水道水源林の一部の森林(約2ha)を「JMTの森」と名付け、東京都水道局と協働して森づくりを行っています。当社は2020年度より環境ワーキンググループに所属する職員を中心に現地に赴き、「JMTの森」の定期的な保全活動を実施しています。

2021年度は、10月4日(月)に「JMTの森」にて間伐作業および看板設置を行いました。間伐作業は、植栽木の密度を調整して木や下草の成長を促すために必要な保全活動で、定期的に行っています。成長の芳しくない木を間引くため、当社職員がノコギリを使用して、木の切り倒し、倒した木の枝の切り落とし、枝を落とした木の横伏せを協力して行いました。また、新たに制作した看板を「JMTの森」の入口に設置しました。その他、水道水源林「100年の森」を視察し、水道水源林の歴史を学びました。

今後も、活動を継続し、社会における環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

以上